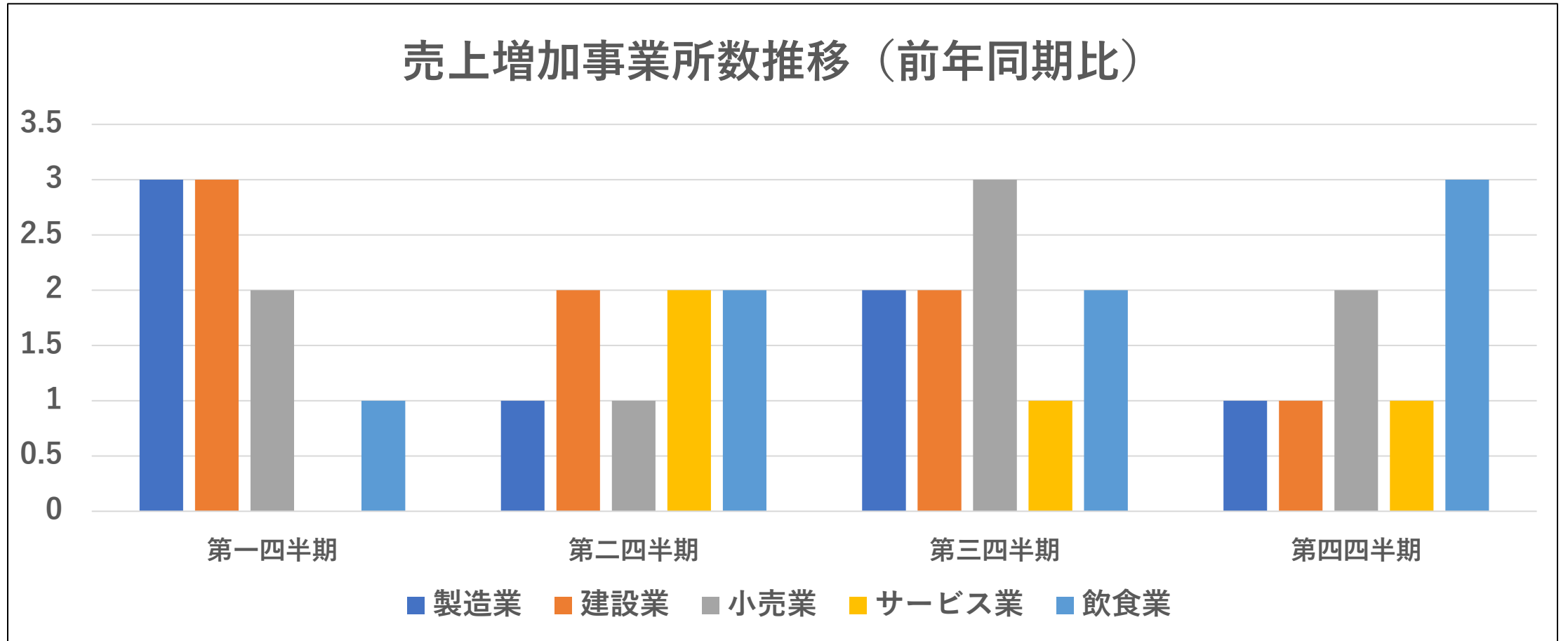
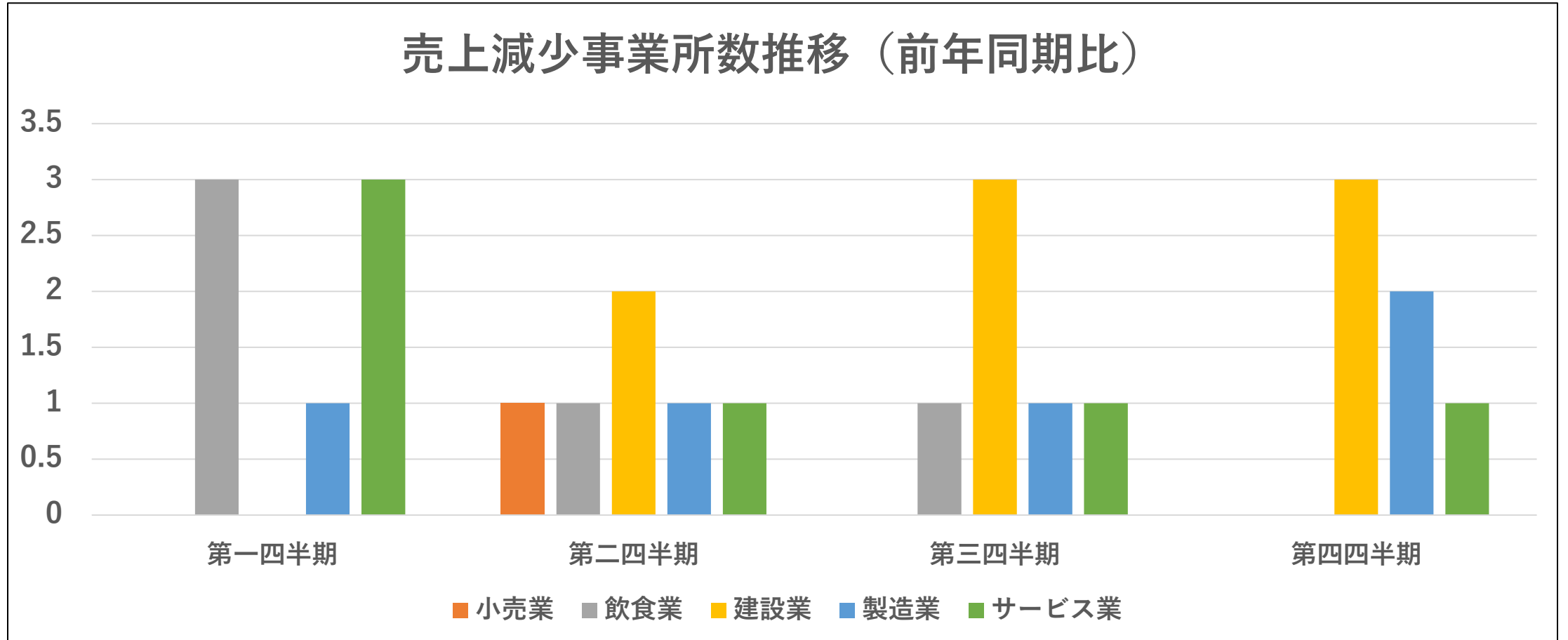


# 令和 4 年度景況調査 (総評)

# ①-1 売上高について



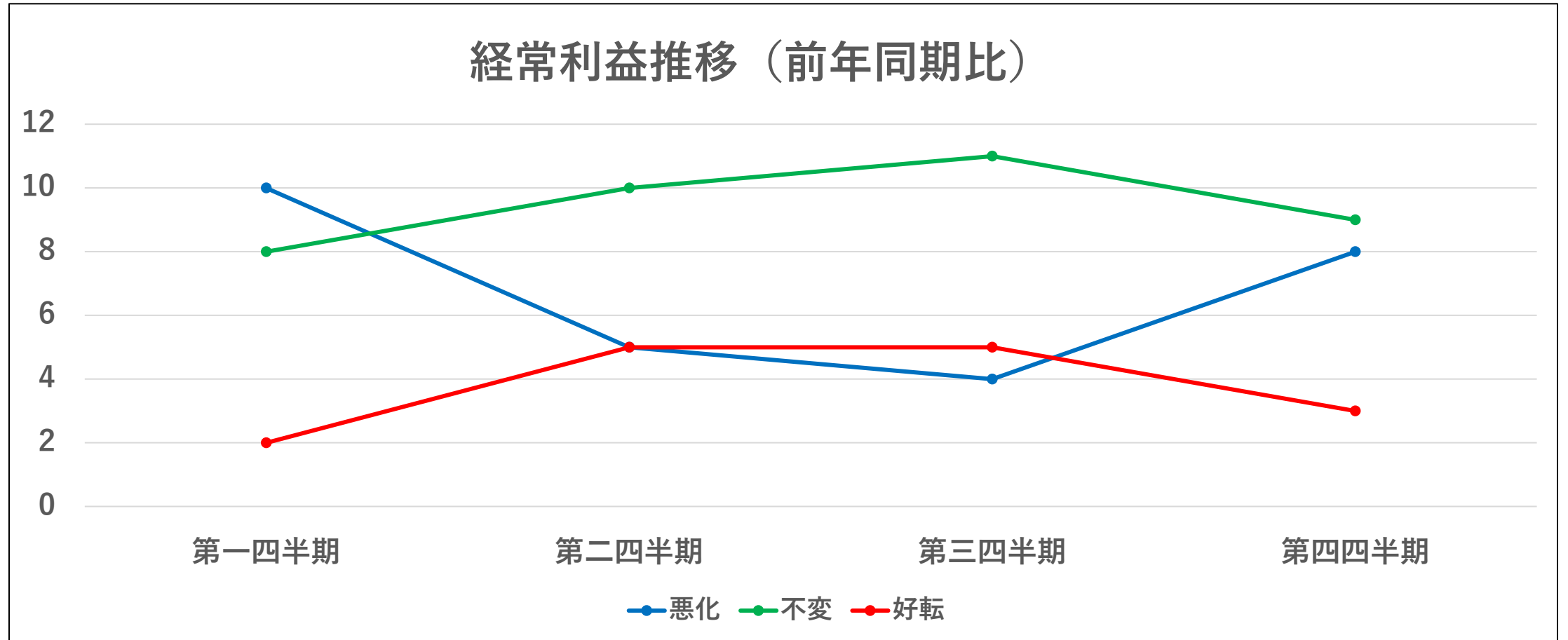
# ①-2 売上高について



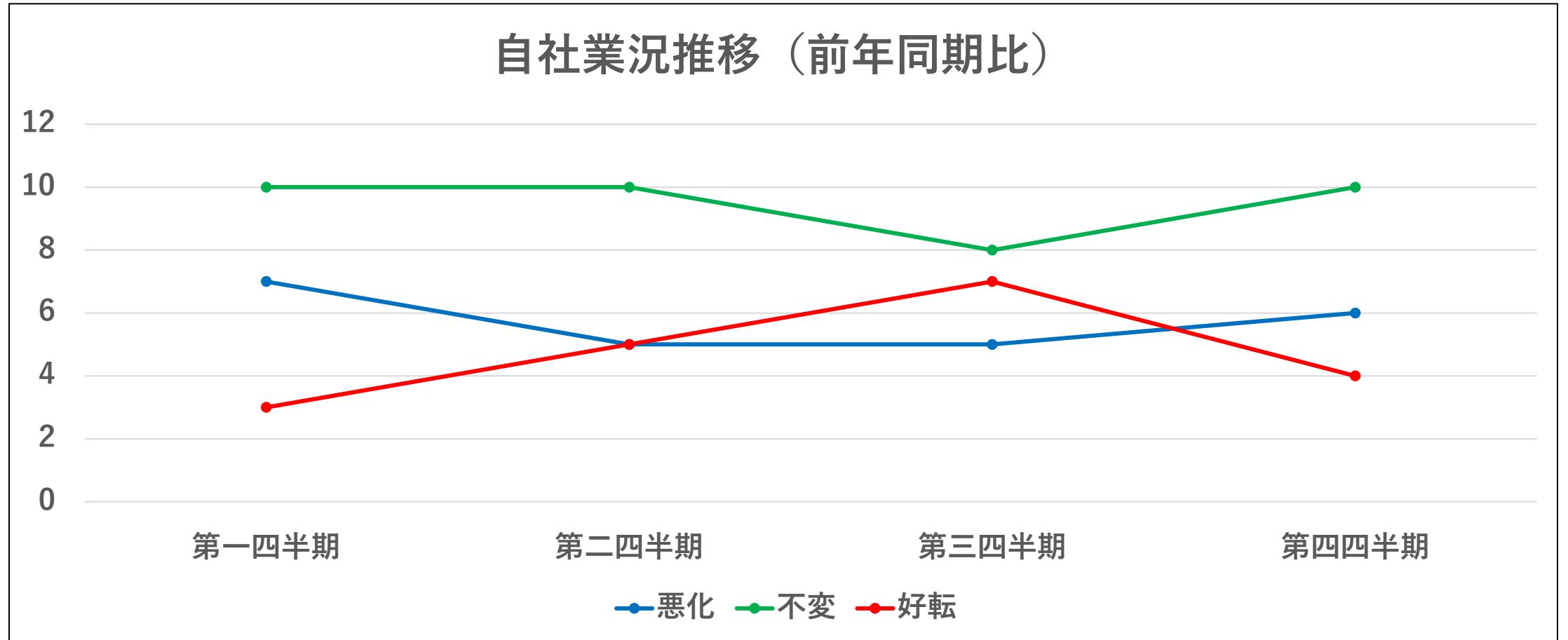
## ①－3 売上高について（総評）

- まず、飲食業が年間を通して売上増加した事業所数が増えており、新型コロナウイルスの感染拡大から外食が敬遠され、厳しい状況にあった飲食店に徐々に客足が戻りつつあるものと推測されます。しかし、今年度は原油・原材料価格の高騰が続いており、仕入価格や光熱費をはじめとした諸経費の上昇が続くなど、変わらず厳しい状況にあることは否めません。
- また、製造業・建設業等では、原材料価格の高騰の影響から、原材料自体が入荷困難な状況に陥り、売上が伸び悩む若しくは売上の減少が顕著に表れる結果となりました。

## ②-1 経常利益及び業況について

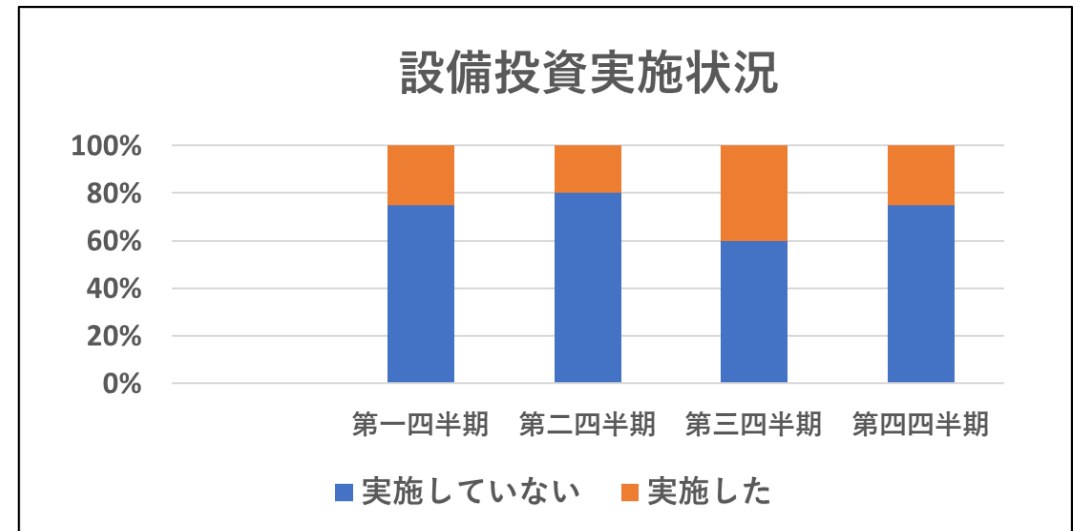


## ②-2 経常利益及び業況について



## ②-3 経常利益及び業況について（総評）

- 調査対象事業社（20社）では、第一四半期から第三四半期にかけて、経常利益及び自社業況について回復の兆しを見せています。しかし、第四四半期では状況が悪化している事業所が多く見受けられました。物価高騰の影響から、仕入率や必要経費が上昇し、また価格転嫁を行えていない事業所があるためと考えられます。
- また、設備投資も第四四半期の実施状況は芳しくなく、業況の悪化が影響しています。



## ～まとめ～

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きははじめ、令5年度では、経済活動も徐々に回復していくと思われれます。しかし、物価高騰が収束しない現状で、今後も会員事業者の皆さまにおかれましては、厳しい状況が続いていくと思います。

商工会では、これらの状況を踏まえながら、来年度も国や県、町の支援施策の活用や、ウィズコロナに向けた新たな経営の確立等、経営課題の解決に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

